

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	28-2	
PDCA	主要事業名	水道安定供給事業	部課名	水道部上水道課			担当	石川	
							内線	493	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 2 単位施策： 水道								
	全体事業期間： 令和 3 年度				全体事業費等： 205,549 千円				
	会計		水道事業会計		歳出科目： 01.01.01				
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 211,800 千円								
	事業概要等	事業概要： 安定した水道水を供給するために、基幹管路網を整備してブロック化（区域の分割）を図る。また、道路改良事業、乙川中部・JR半田駅前土地区画整理事業等の新たな需要が見込まれる地域、地勢的に水圧や水量が不十分な地域への管路整備を実施する。							
		事業目的： 市民へ安定した水道水の供給を図る。							
		事業内容： 配水管布設工事（配水ブロック化、管路網整備等、JR半田駅前土地区画整理事業ほか）、給配水管仮設・給水管布設替工事等（新病院建設事業等）							
		問題点・課題等： 安定した水道水を供給するためには、将来を見据えた管種・口径を選定する必要がある。							
	予算額	主要事業とする理由							
	205,549 千円	水道事業者として、需要に応じて安全かつ安定的に水道水を供給する責務があるため。							
	財源内訳								
	市費	得られる成果							
	575 千円	主要な基幹管路（φ300mm以上の配水管）の管路網整備により、安定した水圧・水量を確保することができる。また、大規模災害等の被災時に断水被害を最小限に留めることができる。							
国費	目標値や目指すべき状態								
0 千円			令和元年度		令和2年度		令和3年度		単位
県費	0 千円	配水管ブロック化整備率	実績値	—		—		—	%
			目標値	—		97.7		%	
その他	204,974 千円		実績値						
			目標値						

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果							
	100,804 千円	残るブロック化については、半田乙川中部土地区画整理事業区域内であり、事業の進捗に合わせて整備率の向上を図ることができた。実績値が目標値を下回った理由は、区画整理事業進捗状況により実施が困難な状況となったことによるものである。							
		成果指標				令和3年度		単位	
		配水管ブロック化整備率	実績値		96.9		%		
			目標値		97.7		%		

C 課題の整理	事業の評価・課題	C						
		安定した水道水を供給するため、基幹管路（口径300mm以上の配水管）のブロック化を図るなかで、半田乙川中部土地区画整理事業の進捗状況により一部未着手となったが、ほぼ計画どおり管路網整備を実施した。残る未整備区間についても、事業者と綿密な調整を図る必要がある。また、集合住宅への給水に伴う配水管増径工事や道路改良事業・JR半田駅前土地区画整理事業など、社会基盤整備に併せた配水管布設工事を実施し、将来を見据えた管種・口径を選択し、安定した水道水を供給することができた。						

A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進						
		配水管のブロック化については、半田乙川中部土地区画整理事業の進捗に合わせて実施する必要があるため、引き続き事業者と綿密に調整しながら早期完了を目指していく。今後は、高度経済成長期に整備された施設や管路が更新時期を迎えていることから、持続可能な健全な経営のもと、水道施設の適切な維持管理と計画的な更新及び再構築を進め、老朽化対策を推進する必要がある。						
	観点別評価	必要性		有効性			効率性	
①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献		大きい	⑦コスト削減余地	ある	
②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地		ある	※対象・手段の変更		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無		ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	